

第19回全日本中学生男女ソフトボール大会に協賛

令和、はじめての夏到来！

令和元年8月10日(土)～13日(火)、大阪市此花区のセレッソスポーツパーク舞洲にて「第19回全日本中学生男女ソフトボール大会」が開催されました。全国餅工業協同組合(全餅工)では、7年連続で同大会に協賛し、国内産水稲もち米100%使用の包装餅のプロモーション活動を実施しました。



記録的猛暑だった前年を上回る“アツイ”大会！

前年(2018年)の大会期間中の最高気温が摂氏36.0度だったのに対して、今年は初日の開会式で既に37.2度を記録※。絶え間なく汗がボタボタと滴り落ちるほどの熱気に包まれる中で、全国大会が幕を開けました。

※記録はいずれも大阪管区気象台の大阪エリア観測記録より

大会には女子46チーム、男子19チームが出場。学校単位だけでなく、クラブチームも参加できるこの大会は、全国から有名な強豪チームが一同に顔を揃える注目の大会です。



選手や保護者の皆様へ、おもちをアピール！

全餅工では、試合会場と開会式が行われる天然芝グラウンドを結ぶ動線沿いに特設ブースを設置。8月10日(土)の午後からプロモーションをスタートさせました。

全国大会に出場する選手たちと言えども、やはり普段は中学生。好奇心いっぱいの表情で全餅工ブースに立ち寄り、おもち大明神の“特製おみくじ”で大吉を引き当てるたびに大きな歓声が起こります。



2年連続で全国大会に出場したチームの新人選手は「先輩から、全国大会へ行くとおもちがあるよ～と聞いていたのだけど、これだったんだ！でも、なんで“スポーツにおもち”なの？」と不思議なようです。

全餅工では、全日本中学生男女ソフトボール大会を7年連続で協賛。ソフトボールで頂点を目指す子どもたちや保護者・関係者の皆様へ、おもちとスポーツの親和性やおもちを活用したカーボローディングについて、漫画風チラシなど趣向を凝らして認知促進を進めています。



出場各チームの指導者層へもアピール！

また、開会式前に行われた監督会議では協賛団体として挨拶し、出場全チームへ切り餅セットを贈呈させて頂くことを告知。さらに、開会式直前での会場アナウンスなどで、スポーツ時の栄養補給やカーボローディングにお餅が適していることをアピールしました。



全チームへお餅セットとエールを送る！

開会式の前後、全餅工の特設ブースでは各チームの代表者へお餅セット(各チーム登録人数分)を手渡しさせて頂き、大会での健闘と活躍を祈り、エールを送りました。

受け取りに来られた指導者の中には、普段から選手たちの栄養面に気をつけている方が多く、「暑い夏は子どもたちの食欲が落ちて、冷たいものばかりを食べたがる。餅は食べやすいから、意外だけど夏のスタミナ補給に良いかもしれないね」と得心されていました。



令和最初の大会は初ものづくし！

今大会の決勝戦は男女とも手に汗握る接戦となり、男子はFSC(福井県ソフトボールクラブ／福井)がオール鹿児島JHS(鹿児島)を3対1で下して優勝。女子は岡山エンゼルス(岡山)がAICHI DREAM RUSH(愛知)を3対2の僅差で破り、みごと優勝を果たしました。

男女どちらのチームも大会初優勝で、しかも逆転勝ち。特に女子決勝に進んだ両チームは、昨年3回戦で顔を合わせて岡山が大差で敗れた因縁の対決。連覇を狙うAICHI DREAM RUSHに対して、最終回7回表に岡山エンゼルスが満塁からタイムリーヒットで逆転する劇的な勝利を収めました。

彼ら選手たちが過酷な環境下で無事に怪我なく戦えるための体と体力づくりに、今後もお餅を役立てて頂ければと考えています。



“スポーツにはおもち”を全力発信！

全国餅工業協同組合では、このようなスポーツ協賛活動等を通して、包装餅がスポーツ時に有効な食べ物であることを多くの皆様へ広めるとともに、この国の将来を担う若者たちを全力で応援していきます。